

## 1 訪問授業の概要

### (1) 目的

基本構想の策定にあたり、区民の声を反映する取組の一環として、区職員が区内小中学校を訪問し、区の課題や望ましい未来の姿について児童・生徒と共に考える。

### (2) 実施校・実施日(小学校3校、中学校1校)

- 中央小学校(第6学年) 平成28年3月7日(月)・11日(金)
  - 阪本小学校(第6学年) 平成28年2月29日(月)
  - 豊海小学校(第6学年) 平成28年2月22日(月)・24日(木)
  - 佃中学校(第1学年) 平成28年3月22日(火)・24日(木)
- ※各校ともクラスごとに2時限ずつ実施した。

## 2 小学校

グループに分かれ「〚住み続けたいまち〚に必要なこと」について、それぞれ意見をまとめ、最後に発表を行った。

### ◆出された意見の主な分野◆

「環境・まちづくり」に関する意見が最も多く(約18%)、次に「遊び場・公園」(約17%)「防災・防犯」(約11%)と続いた。

### ◆意見の傾向◆

学校の授業・活動を通じて学んだ環境や福祉、日々の生活から感じた課題に対する意見が多く寄せられた。小学生が日頃から暮らしの身近な問題を意識しながら、自分なりの意見や考えを持って生活していることがうかがえた。



### 【「住み続けたいまち」に必要なこと】抜粋意見】

#### ○環境・まちづくり

「自然や木などを増やして、環境が良いまちにして欲しい。」  
 「バリアフリーが充実しているまちがいい。」  
 「ごみが少なく綺麗なまち。」など

#### ○遊び場・公園

「安心してボール遊びができるなど遊びやすい場所が欲しい。」  
 「走り回れる公園が欲しい。」など

#### ○防災・防犯

「災害に強く安全で安心なまち。」「協力ができるまち。」など

## 3 中学校

グループに分かれ、「子どもも高齢者も伸び伸び・いきいき」「安全で快適・便利」「にぎやかで誰もが来たい・来やすい」の3つのテーマを中心に、そのテーマの「中央区の課題と解決策」を考えた。あわせて「中央区の将来像(キャッチフレーズ)」についても考え、最後にグループ発表を行った。

### ◆意見の傾向◆

各テーマとも様々な視点から意見が出されたが、「交通・施設整備」「商店街・産業振興」に関する意見が特に多く寄せられた。

※佃中学校では、平成27年6月から10月にかけて総合的な学習の時間で佃・月島地域のまちづくりをテーマに学習をしていた。今回の授業ではその時に学んだ成果を活かし、提案につなげたグループが多かった。

### 【中学生が考えた中央区の課題・解決策と将来像】

《 中央区の課題と解決策 》 (要約)	《 中央区の将来像(キャッチフレーズ) 》 (抜粋)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 老人ホームや保育園などが少ないため、マンションの中などに施設や保育園などをつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未来都市の下町</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然が少ないので、例えば隅田川沿いのコンクリートを芝生に変えたり、木や花を植えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Japanese お・も・て・な・し in中央区</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道が混み合うので、歩道を広くして歩行者と自転車用に分けたり、公共交通機関の本数を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今と昔の世界観が作りだす 中央区</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設が少ないので、図書館や公園など子どもから老人まで楽しめる施設が欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑にあふれ 安全安心 やすらぎの町</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域のつながりが弱いので、宝探しやスタンプラリーなどまちおこしになる行事を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誰もが安心して 快適に過ごせる町 中央区!</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光客がまち歩きをしやすいうように、地図アプリを作ったり、無線LANを提供したりして区のことを調べやすくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誰もが住みたい 住みやすい街へ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● みんなの笑顔がつくる どんな人にも優しい区</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人・物・心・笑顔がやって来る・生まれる・あふれる町「中央区」!</li> </ul>



将来像(キャッチフレーズ)には中学生らしい自由な発想による表現が多く用いられ、どのキャッチフレーズにも前向きな言葉が盛り込まれ、生徒たちが将来の中央区に対し明るい期待感を持っていると見受けられた。